

舟形町交流施設

「ふなぼん」※ オープン

東北農林専門職大学総合プロジェクトの一環として、空き家をリノベーションした、舟形町交流施設「ふなぼん」が、令和7年3月18日にグランドオープン。「人と人」や「地域と人」が繋がり、地域に新しい交流や活動を生み出す場所となることを目指しています。

※施設の愛称「ふなぼん」の「ぼん(Pont)」は、フランス語で橋やつながり、交流を意味しています。
[命名：ふながた元気プロジェクト]

集落支援員を設置

交流施設には、学生の支援を担当する集落支援員を配置します。学生の生活をサポートし、学生たちが交流を図る場所として活用していきます。

また、舟形地区を担当する集落支援員を配置し、地域づくりの活動拠点となります。舟形地区では来年度中に地域運営組織の設立を目指し準備を進めています。地域にある課題を把握し、どのような活動を行っていくかの検討を進めていきます。

学生同士、学生と地域の方々が繋がって、新しい交流や活動が生まれる場所となることを期待しています。

学生・教職員向け アパート1号棟



舟形町交流施設



学生向け アパート2号棟



舟形地区に交流施設が誕生

農林専門職大学の開学にあたり、町内にアパートが建設され、これまで進学で若者を送り出すことのほうが多かった舟形町でしたが、学生を迎え入れる町となりました。若者が増えていくことは町にとって明るい話題となっています。

この施設は、地域の方々と大学生が気軽に集い、交流する場所として利用できます。

東北農林専門職大学の1期生として入学し、舟形町に住んで1年が経ちました。この間、「舟形元気プロジェクト」を立ち上げ、住民のみなさんと交流を図りながら、この施設の活用について考えてきました。

ワークショップや夏祭りなどの交流会を開催したいと考えているので、ぜひみなさん参加してください。



舟形元気プロジェクト
坂本 優稀さん(舟形第4)

今年度、地区びじょんを検討してきたなかで、町内会単位では継続が困難になってきている活動が増えてきていることが分かりました。

この「活動拠点」とフォローする「人材」の集落支援員が確保できたことで、舟形地区でも令和7年度中の地域運営組織の設立を目指していきます。



舟形本町地区地域づくり協議会
会長 星川 基さん(舟形第3)

東北農林専門職大学学生向け アパート2号棟完成

学生向けアパートの2号棟が完成。また、入居予定者も決まり満室となりました。

舟形町を選んでくれた学生と、地域のみなさんとの交流を活発化させ、将来的に農林業をはじめ、多くの分野で活躍ができるよう、学生の学びに協力していきたいと考えています。

また、令和7年度にはアパート3号棟を令和8年度に事業は4号棟の誘致整備を進めていきます。

交流施設の記念イベント



▲3月13日、学生と地域の方とのペイント交流会



▲3月18日、オープニング式典でのテープカット

施設の概要

- ◆総工事費 2,199万円
- ◆工事内容 耐震補強工事 床張替工事等
- ◆床面積 1階157.7㎡ 2階 60.9㎡



▲1F 交流スペース



▲1F 交流キッチン



▲1F カフェ・談話スペース

舟形町交流施設の利用について

- 利用時間：午前8時30分～午後9時
※集落支援員がいる時間帯は、開館していますが、その他の時間はあらかじめ予約が必要です。
- 利用料金：無料
- その他：詳しくは、右のQRコードから確認ください。
- 問い合わせ：舟形町まちづくり課地域支援係 ☎(32)0104

